

横手市民会館建設工事 基本設計書【概要版】

山下設計・遠藤建築設計事務所・松橋設計 横手市民会館建設工事 基本・実施設計業務委託共同企業体
令和4年12月

1	仕様概要書・敷地案内図	2
2	計画説明書	3
3	現況図	4
4	配置計画	5
5	平面計画	6
6	断面計画	8
7	立面計画	9
8	外構計画	10
9	雪対策の考え方	11
10	概算事業費及び整備スケジュール	12

1 仕様概要書・敷地案内図

■敷地概要

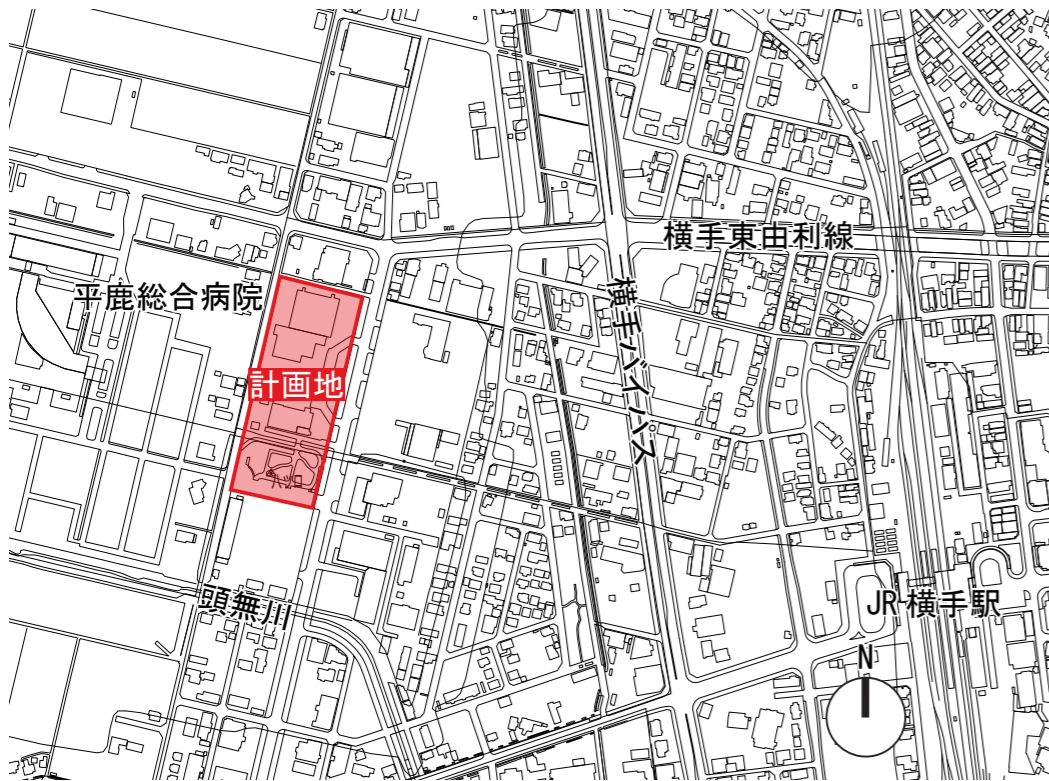
敷地場所	横手市条里一丁目 265 番地外
敷地面積	14,360 m ²
都市計画区域	都市計画区域（区域区分非設定）
用途地域	近隣商業地域
建ぺい率	80%
容積率	200%
防火地域	指定なし
その他	法第 22 条区域 / 都市機能誘導区域（立地適正化計画）

■建物概要

建築面積	4,205 m ² （建ぺい率 29.3 %）
延床面積	7,520 m ² （屋内：6,600 m ² 屋外：920 m ² ）※昇降路の部分 30 m ² を除く（容積率 52.4 %）
	1階 3,495 m ² （屋内：3,300 m ² ※内、昇降路の部分 10 m ² 屋外：195 m ² ）
	2階 2,255 m ² （屋内：1,880 m ² ※内、昇降路の部分 10 m ² 屋外：375 m ² ）
	3階 1,445 m ² （屋内：1,095 m ² ※内、昇降路の部分 10 m ² 屋外：350 m ² ）
	4階 215 m ² （屋内：215 m ² 屋外：0 m ² ）
	キャットウォーク・すのこ・PH階 140 m ² （屋内：140 m ² 屋外：0 m ² ）
階数	4階（キャットウォーク・すのこ・PH階は建築基準法上の階数算定外）
耐火性能	耐火建築物
建物高さ	31.6m
構造種別	鉄筋コンクリート造（一部 SRC 造）

※面積は基本設計時点での概数です。

■案内図 1 /10,000



北東からの外観イメージ

2 計画説明書

計画理念

- ・本施設は市民発表の場、その練習場としての拠点となります。また、活動を介した交流により、多くの人々が集い、多様な活動が喚起される拠点となります。これより、【あそび・まなび・よろこび あふれる 市民の舞台】を施設イメージに据え、基本計画で示されている3つのコンセプトを実現する計画とします。

基本計画コンセプト1 「市民が集い、市民が主役となる舞台」

①県道に対して開かれた、建物の顔づくり

- ・敷地東側の県道48号に面する形で正面性をもたせた建物配置とします。
- ・開口部を通してエントランスホールが「まち」に対して開かれた外観デザインとすることで市民を迎え入れます。

②市民の新たな活動を生み出す空間構成

- ・エントランスホールやホワイエはイベント利用が可能な広いスペースを確保し、壁面は市民活動を発信するインフォメーションウォールとするなど、多くの人々が集い、多様な活動が喚起される空間構成とします。

③賑わいを創出する外構計画

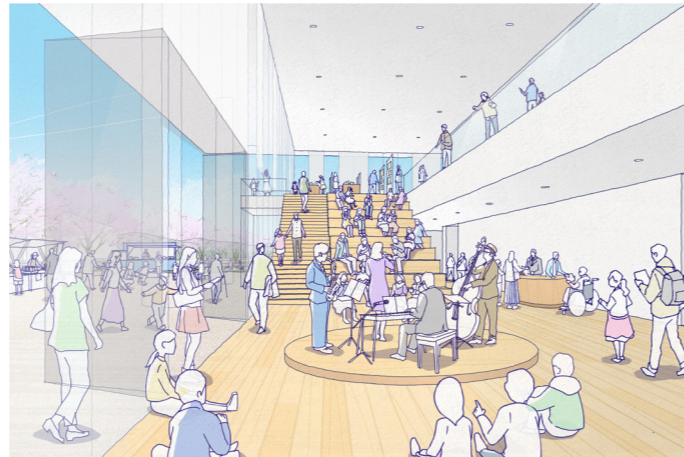
- ・市民会館正面東側には広場を整備し、広場とホワイエを内外一体的に使え、多様なイベントに活用できるよう整備します。敷地東側のプロムナードには遊具やベンチ等を点在させ、日常的な賑わいを創出します。

④市民交流を促すオープンスペースの整備

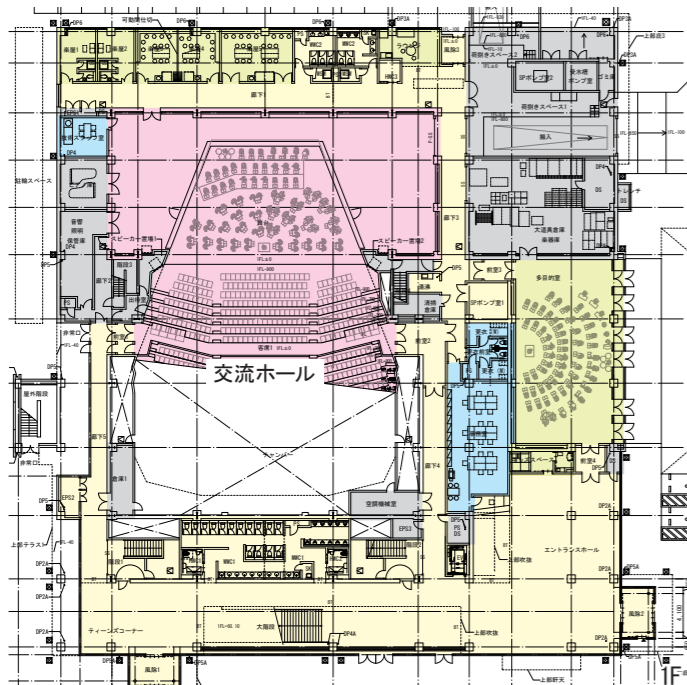
- ・次世代を担う中高生が日常的に集い、交流できるオープンな空間＝ティーンズコーナーを整備します。
- ・開演前や幕間に休憩・談話が可能なホワイエ・ラウンジを各所に配置します。



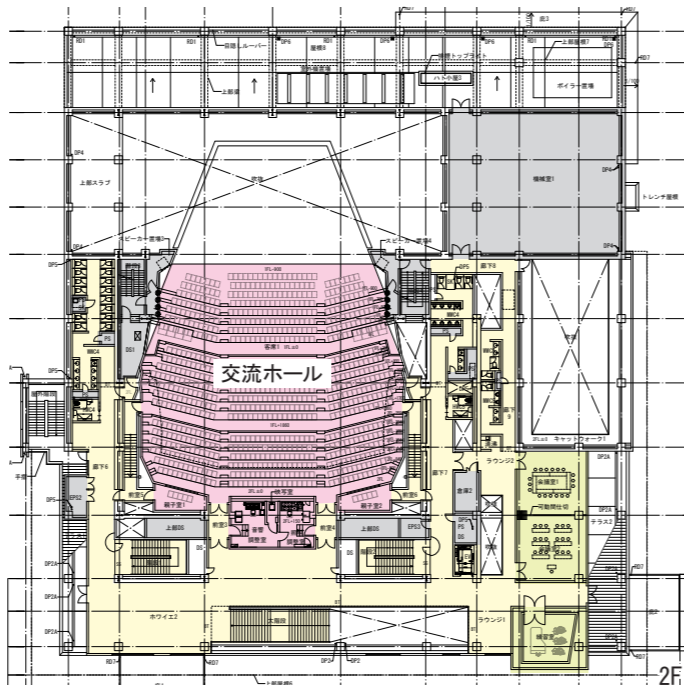
外観イメージ



エントランスホールイメージ



凡例
 交流ホール
 利用者諸室
 共用部
 管理者諸室
 その他



2F
 平面イメージ

基本計画コンセプト2 「機能性を重視した質の高いホール」

①多様な演目に対応する交流ホール

- ・市民ニーズを取り込んだ計画とすることで、将来に渡って利用しやすい設えとします。また、市民鑑賞事業などの際にプロが使用する場合にも十分に対応出来る舞台設備・構成・座席配置とし、多様な利用形態に配慮します。
- ・客席(1300席)は2層構成とし、見下ろし高さを抑えることでホール全体で一体感のある構成とします。

②機能性を重視した舞台機構・照明・音響設備

- ・可動式の音響反射板や約20mのゆとりある舞台幅、2段すのこ、十分な吊物機構を有する舞台計画とします。
- ・高品質の芸術鑑賞を可能にするため、現在の仕様に合わせて舞台照明・舞台音響計画とします。

③イベントに応じた拡張性を備えるゾーニング

- ・多目的室、会議室、練習室について、各室に至る演者動線を利用者動線と分けて計画することで、大型イベント時に楽屋や楽器の調整室等として利用できるよう計画します。



交流ホール 客席側 構成 イメージ



交流ホール 舞台側 構成イメージ

※ホール内装デザインについては、今後調整となります。

基本計画コンセプト3 「シンプルで誰もが利用しやすく、市民に愛される施設」

①横手らしさを取り入れた外構デザイン

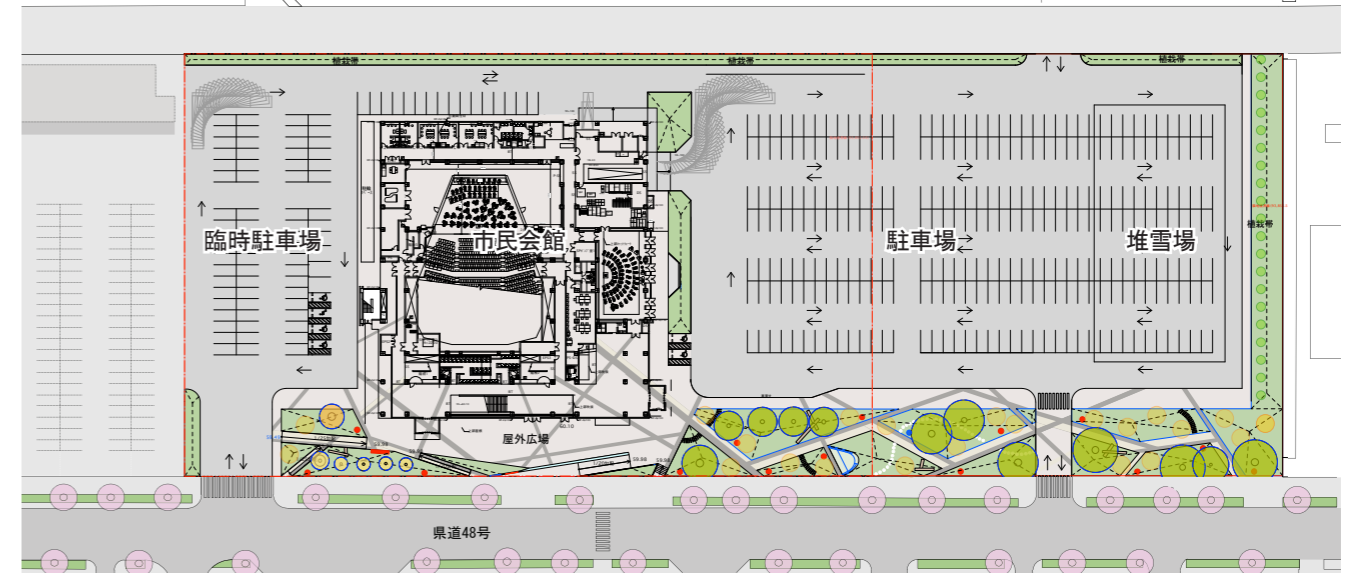
- ・広がる田園風景や横手盆地を囲む山並み、かまくらといった横手市のアイデンティティを取り込んだ外構のデザインとします。また、既存樹を積極的に保全して四季折々の彩りある風景を継承します。

②豊かな緑地帯を活かした歩いて楽しい歩行者空間

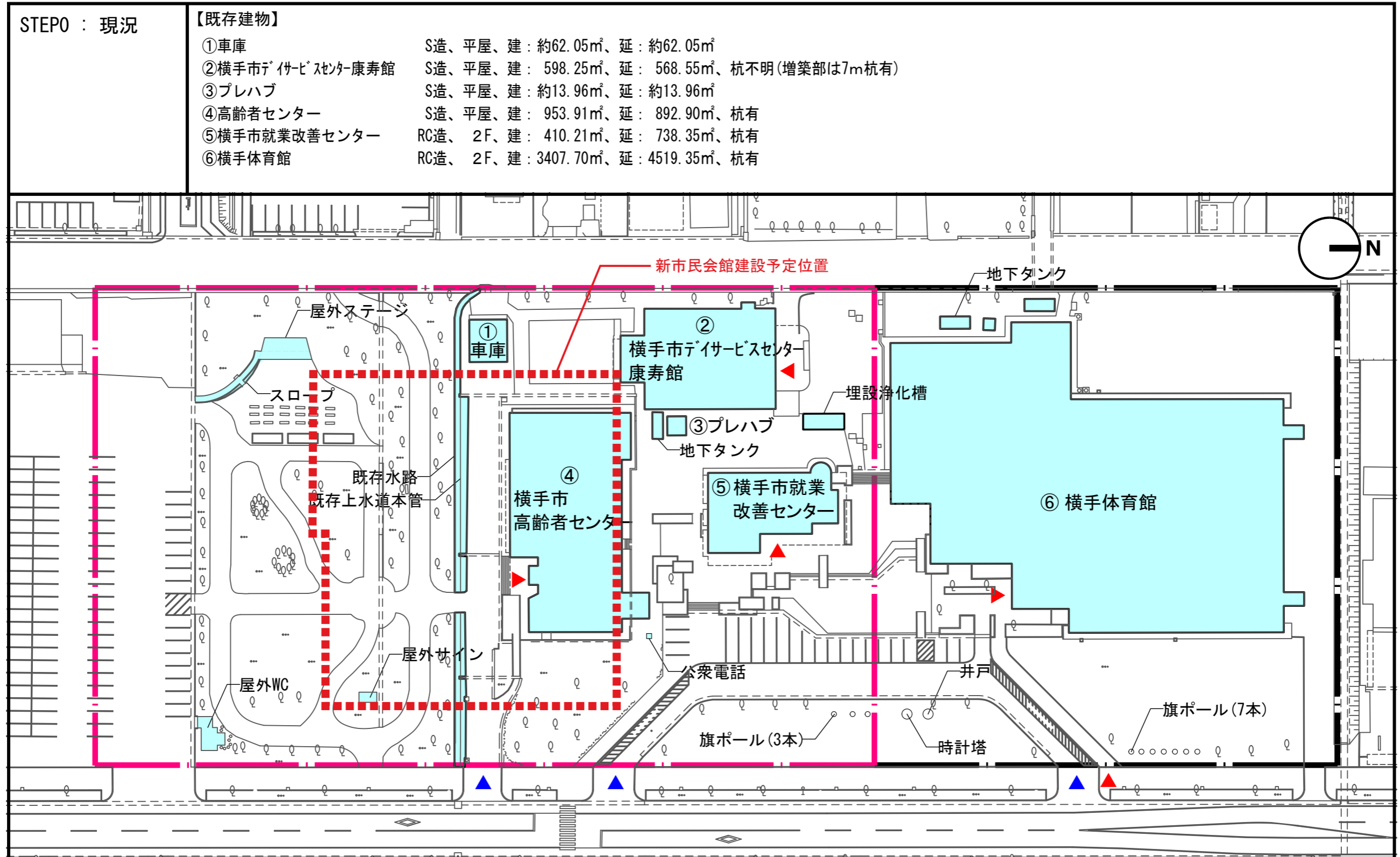
- ・県道沿いの緑豊かな歩道を生かして、市民の憩いの場となるプロムナードを整備します。舗装は横手を意識したファニチャーやペーパメントで親しみやすい空間とします。公園としての日常利用や屋外イベントにも利用可能です。

③多様な利用者を想定した施設計画

- ・ノンステップで移動できる車椅子席の計画や、仕様の異なる多目的トイレの複数配置、小さい子供連れの方も安心して利用の出来るキッズスペースや授乳室、親子で鑑賞できる親子室等を整備します。



配置イメージ



scale:1/800

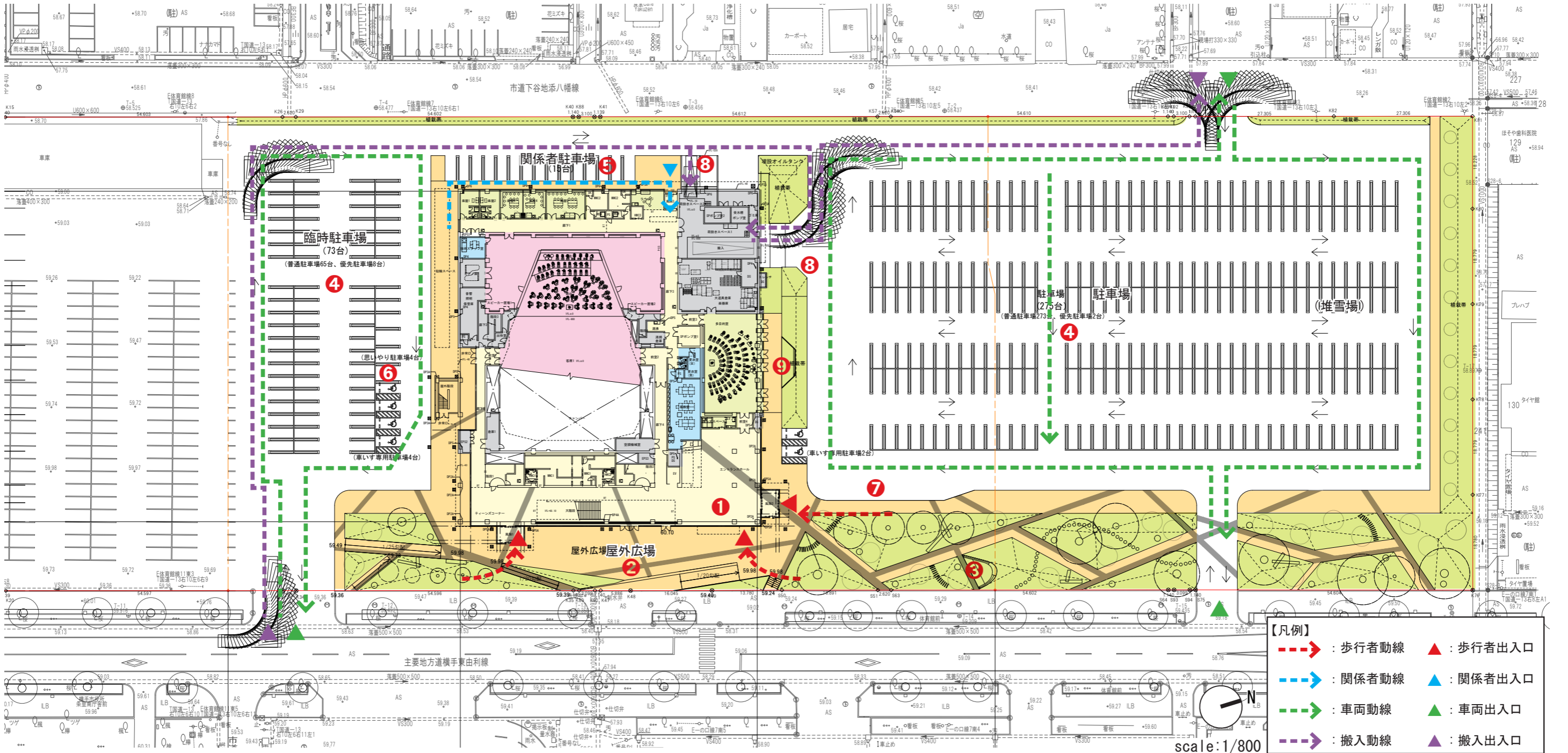
4 配置計画

1. 県道への正面性を持った建物配置と賑わいの創出
 エントランスホールやホワイエを敷地東側の県道48号に面する形で計画建物を配置することで、正面性を持たせます。また、計画建物と県道の間には屋外広場を設け、賑わいを創出します。

2. 豊かな緑地帯を活かした歩いて楽しい歩行者空間
 県道沿いの緑豊かな歩道を生かして、市民の憩いの場となるプロムナードを整備します。公園としての日常利用や屋外イベントにも利用可能です。

3. 利用者と関係者の動線を明確にした施設配置
 施設管理のしやすさを考慮して、建物の北側を利用者の駐車場とし、建物の西側は関係者の駐車場とします。イベントに合わせた利用が行えるように建物の南側は臨時駐車場とします。

4. 冬期の利用を踏まえた敷地利用計画
 冬期の利用を踏まえ、堆雪エリアを敷地の北端部に確保することで、冬期においても利用者用と関係者用の駐車場を分けた運用が可能な計画とします。



- ①メインエントランス：県道や駐車場からアクセスしやすい北東側と南東側の2カ所にエントランスを配置します。
- ②屋外広場：建物正面には内部と一体的に使え、多様な屋外イベントに活用できる屋外広場を整備します。
- ③プロムナード：県道沿いの緑豊かな歩道を活かして市民の憩いの場を整備します。

- ④駐車場：利用者駐車場は建物の南北に整備します。南側の臨時駐車場はイベント規模に合わせて隣地との連携による駐車台数の拡張も可能です。
- ⑤関係者駐車場：建物の西側に整備し、利用者動線との交錯を避けます。

- ⑥思いやり駐車場：思いやり駐車場を建物南北に整備し多様な利用者ニーズに答えます。
- ⑦車寄せ：市バスやタクシー等の乗降場所として、建物北東側のエントランス近くに整備します。
- ⑧搬入口：一般利用客の搬入もしやすいように北側からの直線入りとし、スムーズな搬出入に配慮します。西側

- にはサブの搬入口を設け、北側搬入口利用時にも荷入れができる構成とします。
- ⑨多目的室前広場：外部との一体的な利用を想定し、多目的室に面した広場空間を整備します。

5 平面計画

1. 市民の新たな活動を生み出す空間構成

エントランスホールやホワイエはイベント利用が可能な広いスペースを確保し、壁面は市民活動を発信するインフォメーションウォールとするなど、多くの人々が集い、多様な活動が喚起される空間構成とします。

2. 市民が利用しやすい質の高いホール計画

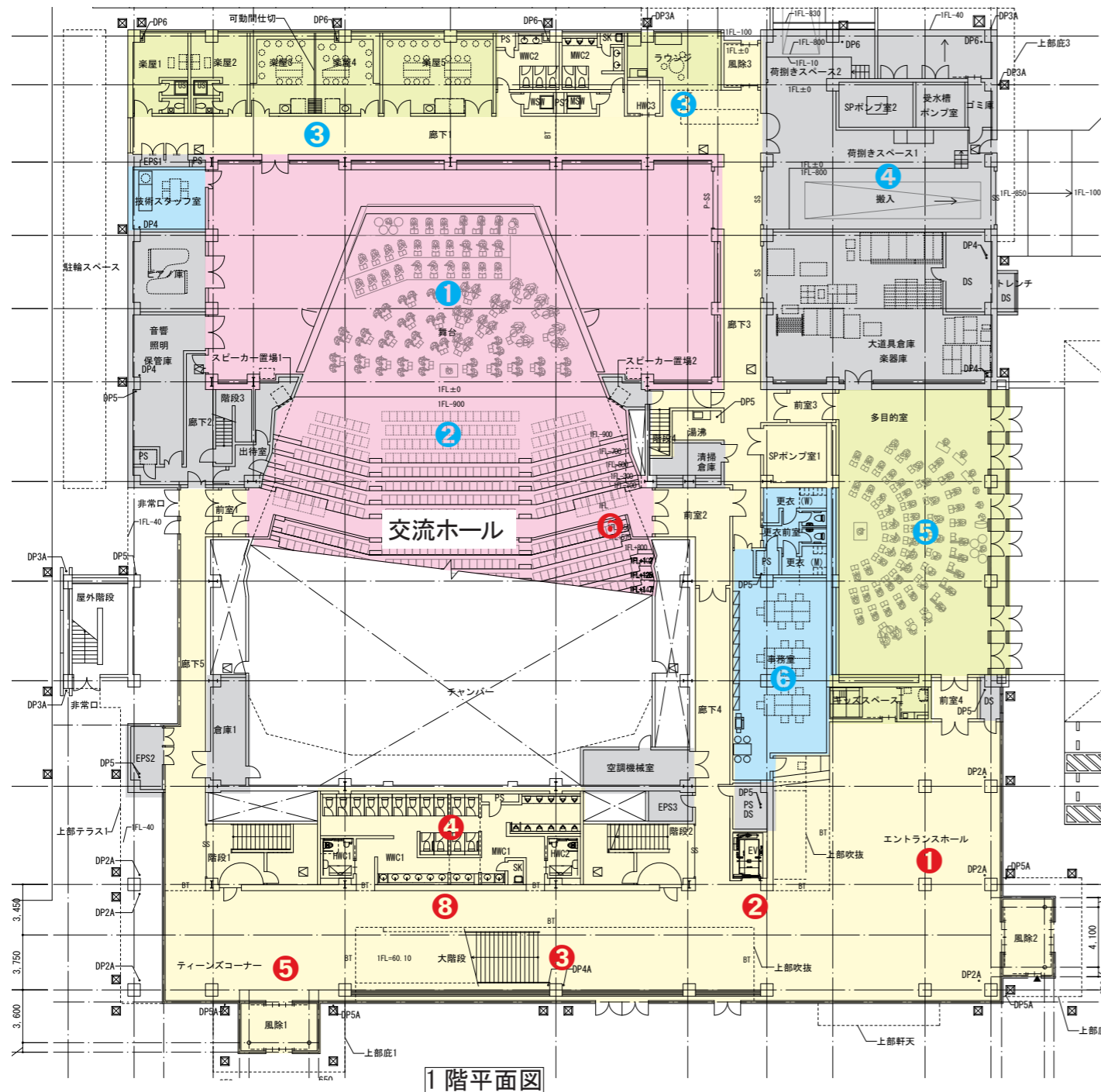
交流ホールは、市民ニーズを取り込んだ計画とすることで、将来に渡って利用しやすい設えとします。また、プロユースにも対応出来る舞台設備・構成・座席配置とし、多様な利用形態に配慮します。

3. イベントに応じた拡張性を備えるゾーニング

多目的室、会議室、練習室について、各室に至る演者動線を利用者動線と分けて計画することで、大型イベント時に楽屋や楽器の調整室等として利用できるよう計画します。

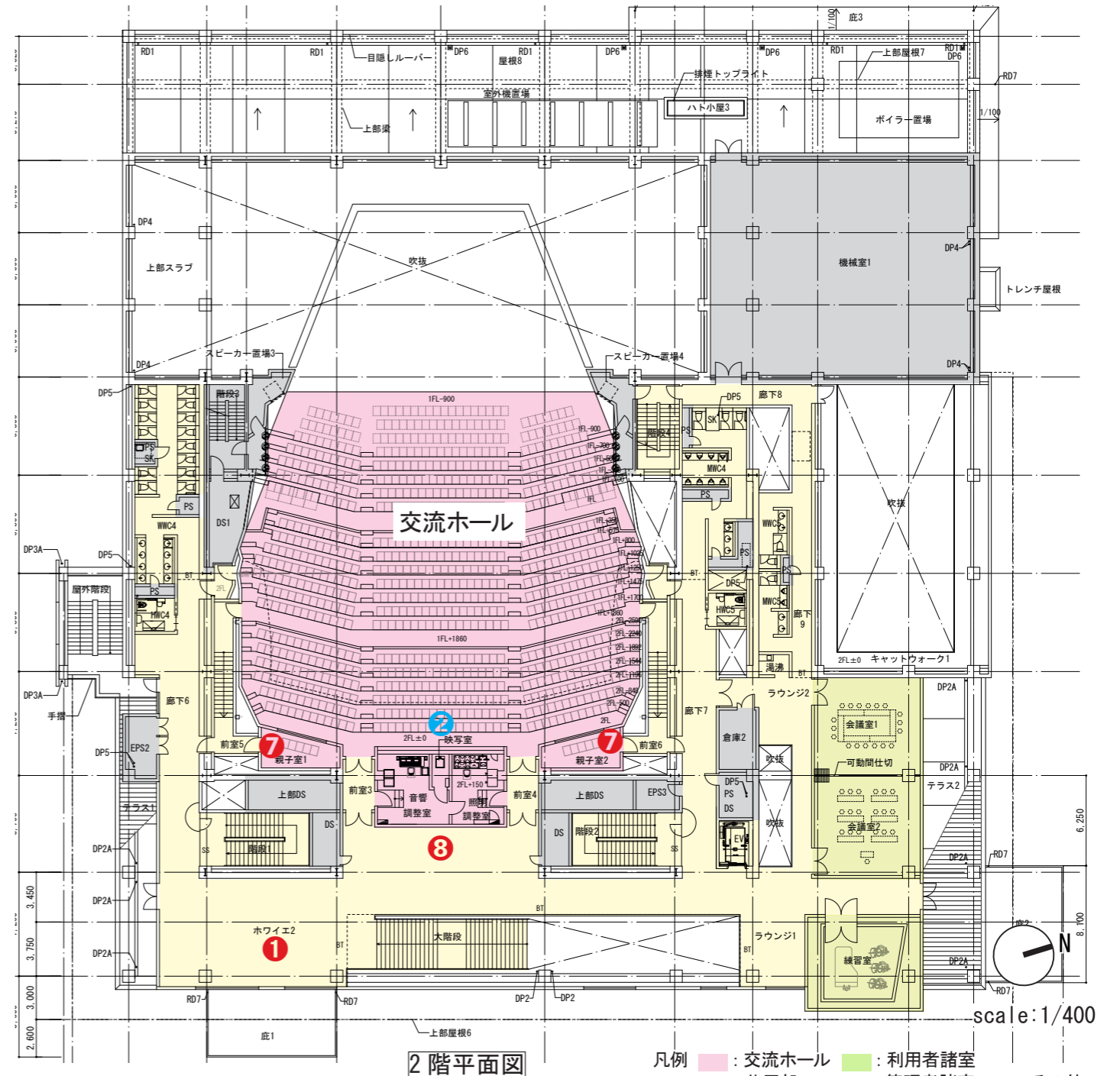
4. 多様な利用者を想定した施設計画

ノンステップで移動できる車椅子席の計画や、仕様の異なる多目的トイレの複数配置、小さい子供連れの方も安心して利用のできるキッズスペースや授乳室、親子で鑑賞できる親子室等を整備します。



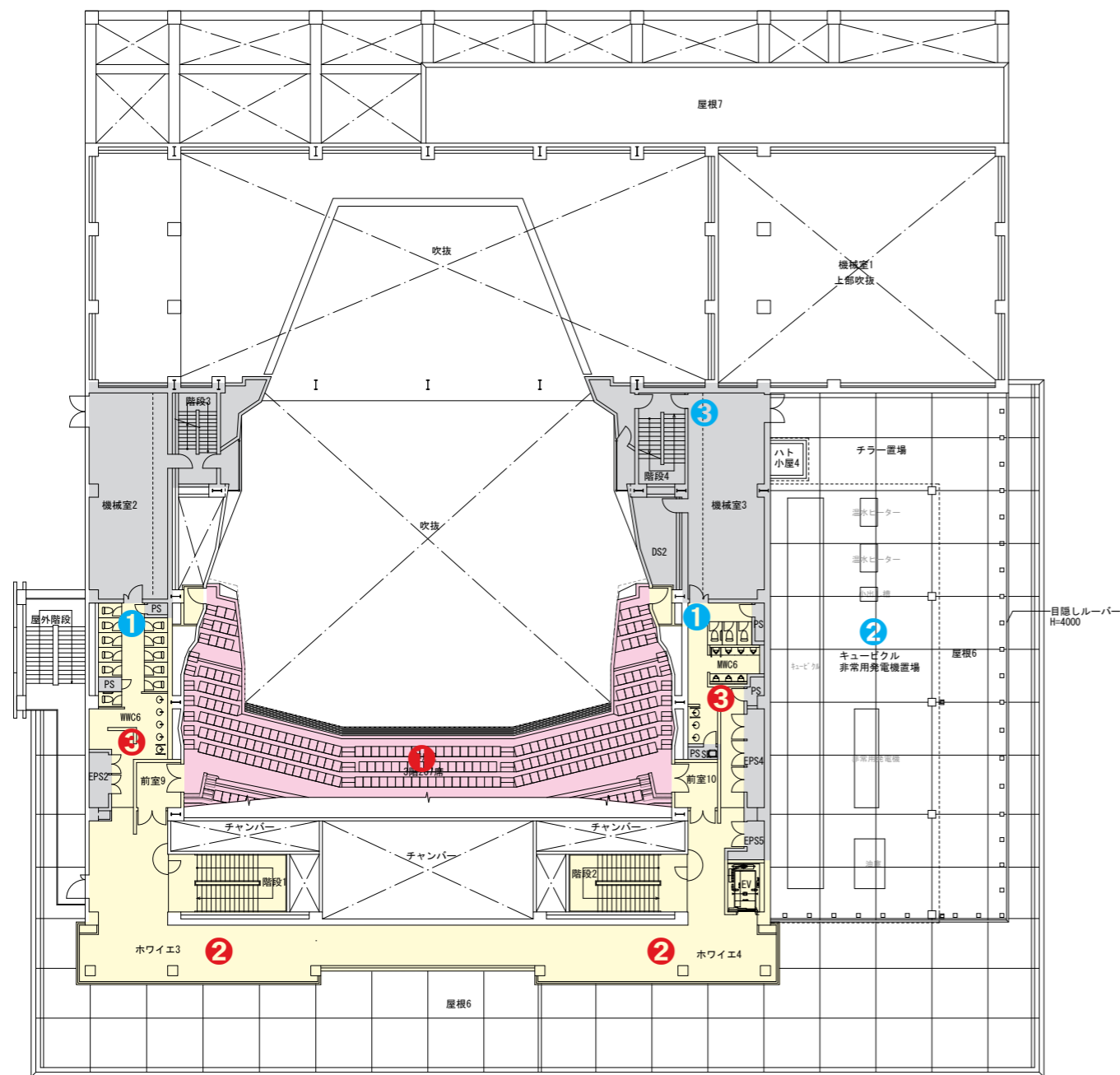
【利用者（鑑賞者）】

- ① エントランスホール・ホワイエ：広く開放感のある空間構成とし、内外の一体利用も可能な設えとします。
- ② EV：ストレッチャー対応とし、視認性の高い計画とします。
- ③ 大階段：高揚感を高める他、記念撮影等に利用可能です。
- ④ 各階WC：十分な個数を整備し、混雑緩和に配慮します。
- ⑤ ティーンズコーナー：次世代を担う中高生が日常的に集い、交流できるオープンな空間を整備します。
- ⑥ 車椅子席：1階レベルに座席を設置することで、ノンステップでのアクセスが可能です。
- ⑦ 親子室：お子様連れの方の安心した利用に配慮します。
- ⑧ インフォメーションウォール：市民活動の情報を発信したり、市民文化祭時には掲示利用が可能な設えとします。

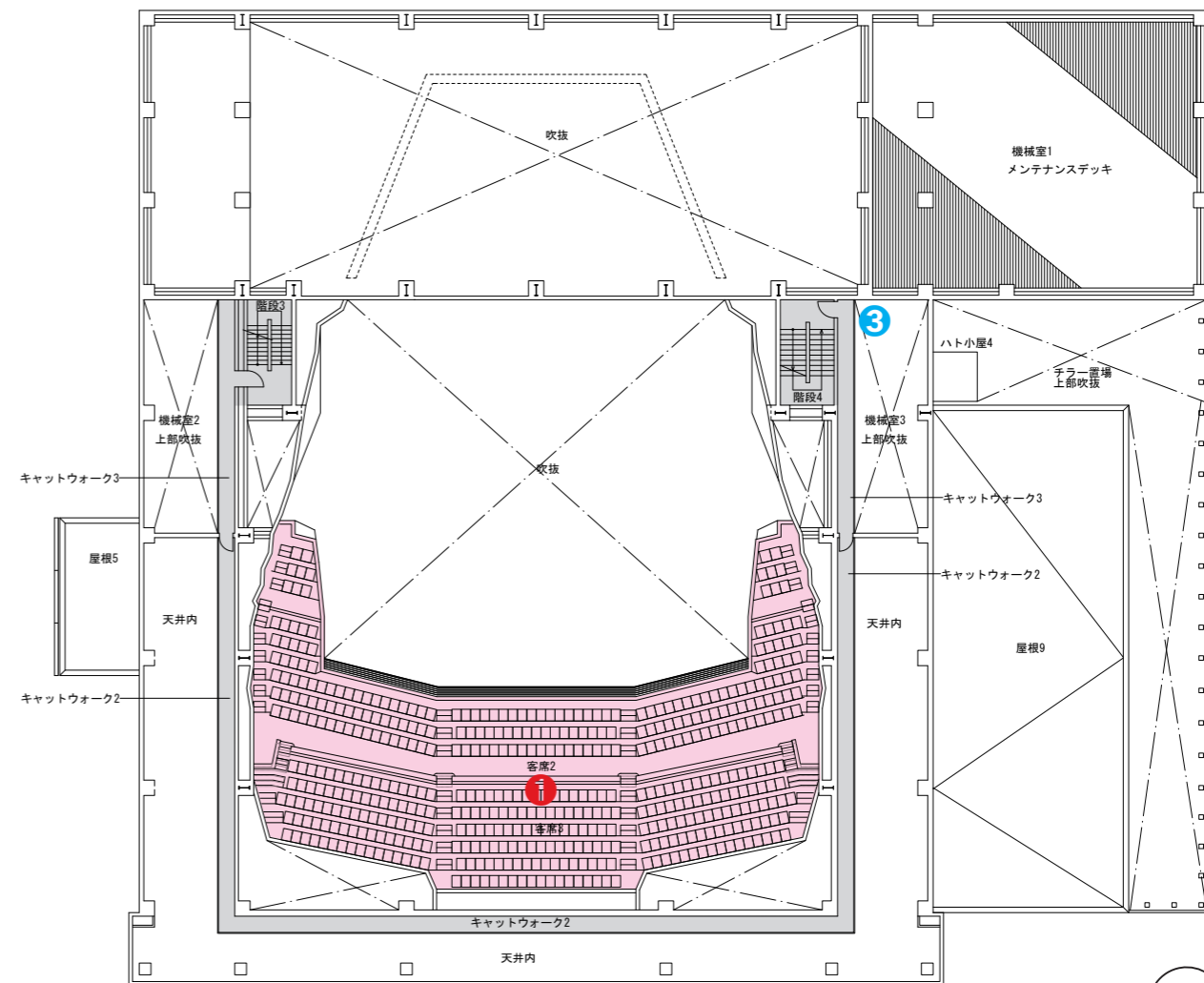


【演者・運営者】

- ① 舞台：音響反射板は可動式とすることで、多様な演目への対応が可能です。
- ② 可動席：オーケストラピットや持込卓利用に配慮します。
- ③ 楽屋・ラウンジ：楽屋は様々な仕様を計画し、可動間仕切りによるサイズ変更等が可能です。ラウンジは食事や休憩、ケータリング利用に配慮した設えとします。
- ④ 搬入・大道具倉庫：舞台に隣接した配置とすることで、スムーズな搬出入が可能です。
- ⑤ 多目的室：多様な利用に対応し、内外一体利用ができる設えとします。
- ⑥ 事務室：メインのエントランスから視認性の高い位置に配置し、内部が見えないよう仕切りを設置します。



3階平面図



M3階平面図

凡例
 : 交流ホール
 : 共用部
 : 利用者諸室
 : 管理者諸室
 : その他



scale:1/400

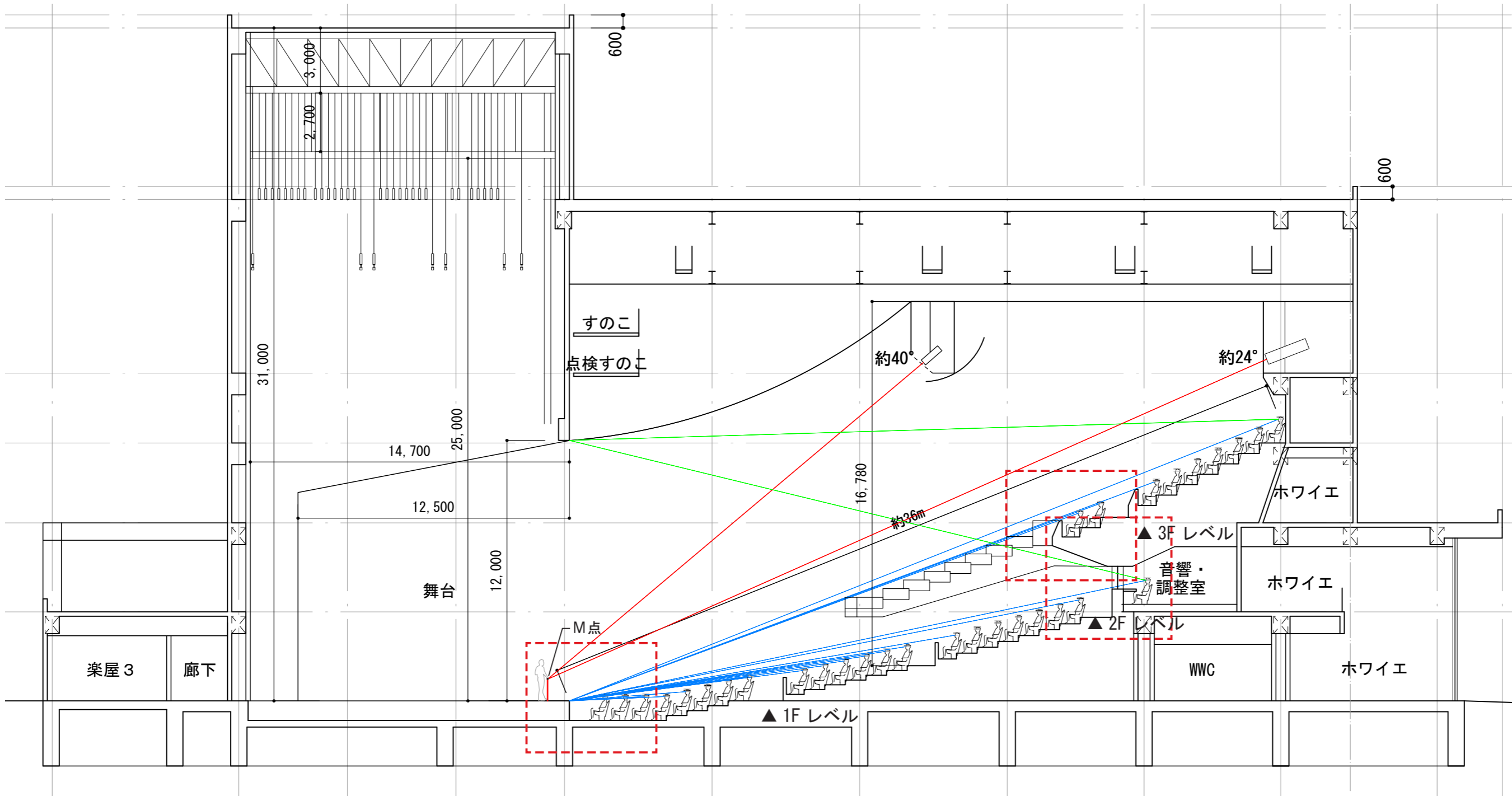
【鑑賞者】

- ① 3, M3階客席：2層目の座席は通路から上下に連続した座席配置とします。また、3階席の両端には袖席を設け、ステージに近く、臨場感の高い席とします。
- ② ホワイエ：3階ホワイエの中央部は、ハイサイドライトからの自然採光を取り入れ、落ち着いた空間とします。鑑賞前後や幕間での休憩、溜りスペースとして機能します。
- ③ WC：十分な個数を整備します。また、混雑時の動線を考慮した平面計画とします。

【演者・運営者】

- ① 機械室：機械室へのアクセスは管理者用階段に加え、フィルターの更新や重量物の搬出入を考慮し、EVでの移動が可能な動線を確保します。
- ② 屋外機置場：屋外機その他、屋根5を含めた上部屋根の除雪器材の置場を確保します。
- ③ 管理者用階段：フライ上部の屋根まで屋内階段を連続させることで冬期の除雪作業に配慮します。

6 断面計画
 ■ホール断面図



■客席2層構成の考え方

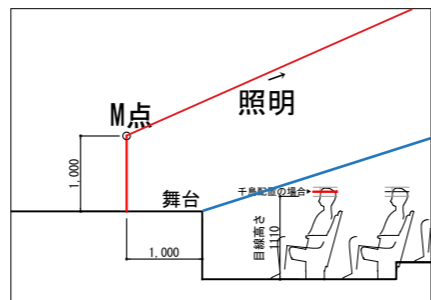
【客席1層目】

中通路を1階フロアレベルとすることで、車椅子使用者がノンステップで移動可能です。また、1層目最後部は2階からアクセス可能な断面構成とすることで、1,2階の両方から交流ホールへのアクセスが可能となり、終演後の混雑緩和や幕間のトイレ利用の分散などに配慮します。

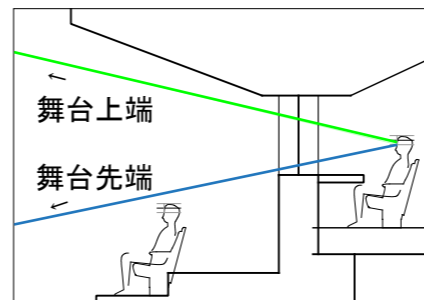
【客席2層目】

3階レベルから上下に連続した座席構成とし、両端部には袖席を設けることで臨場感の高い席を計画します。2層構成とすることで、舞台への良好な視線角度に配慮します。

■サイトライン等の考え方



【舞台照明 (M点)】



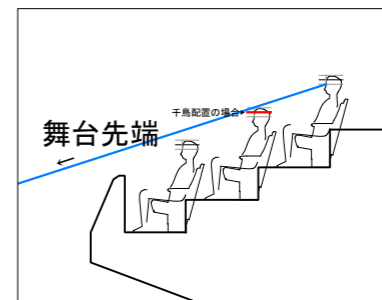
【音響・照明調整室】

【舞台照明 (M点) について】

・ピンスポットライト等の舞台照明は、舞台先端から1mにある高さ1mの位置 (M点) に合せた設置計画とします。

【音響・照明調整室について】

・舞台先端からプロセニウム下端まで視認できるサイトラインを確保します。



【客席】

【客席について】

・舞台先端を焦点として、前列の目の高さから6cm上部 (千鳥格子配置の場合。その他の場合は12cm上部) の基準線上部を視線が通るようにサイトラインを計画します。(1層目前方の可動席は対象外とする。)

7 立面計画

■外部仕上計画の基本方針

- ① 建物の構えに応じた適切な材料の選定
- ② 耐久性に優れ、維持管理の容易な材料の選定
- ③ 市民が集い、秋田らしさを感じられる立面の構成材としても考慮

- ・ 県道側に正面性を持たせることで、「まち」に対して開かれ、市民を迎え入れる外観とします。
- ・ 中間階に大きな屋根を設けることで、建物ボリュームを高層部と低層部に分け、建物高さに対する圧迫感の低減に配慮します。
- ・ 維持管理や更新性も考慮しつつ、秋田県のホールとして「秋田らしさを感じられる親しみやすいホール」とすることを計画の中心に据えた外観デザインとします。

■主な仕上げ材と適用部分の概要

○開口部

開放性・内外の視覚的な連続性が求められる場所には大開口テラス戸等を設け、内外一体利用に配慮します。



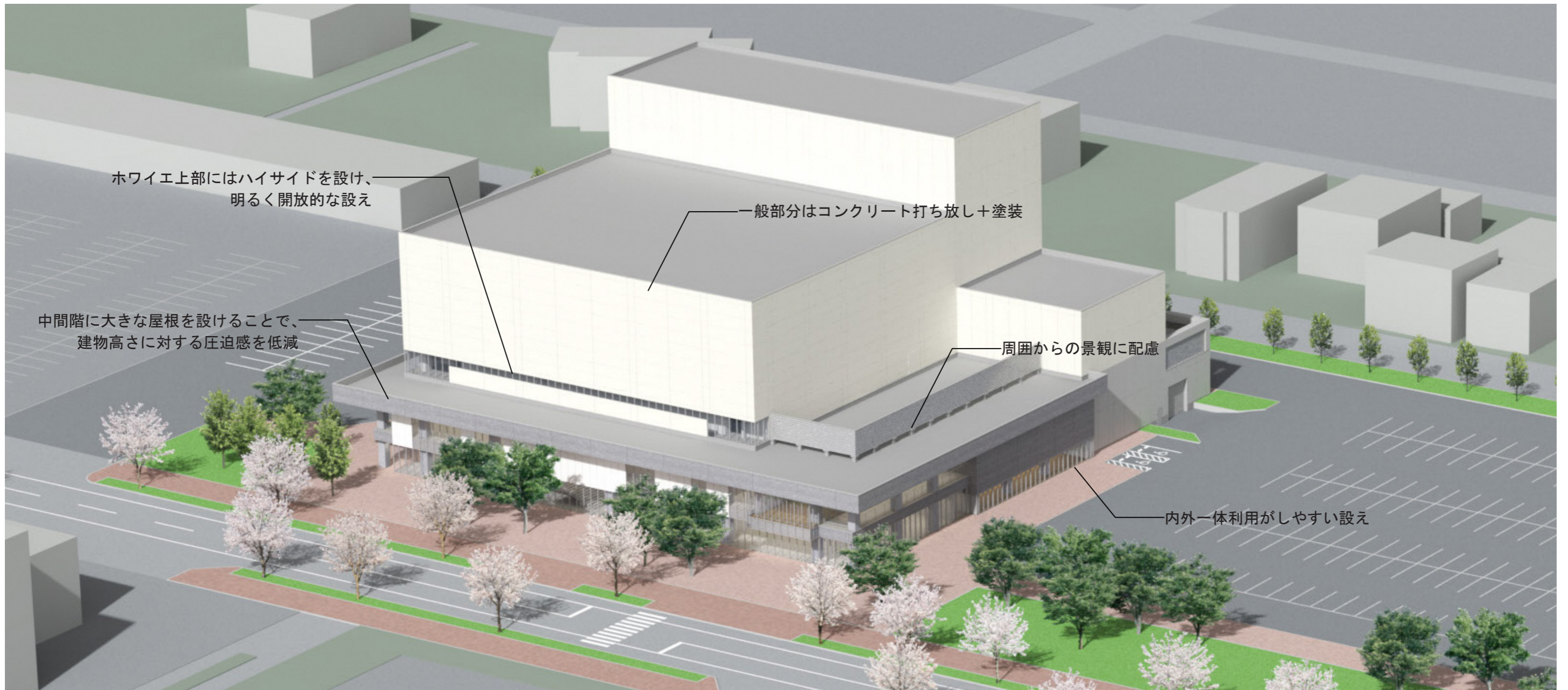
○外壁仕上げ

意匠上主要な部分（低層部）の外壁は杉板型枠コンクリートを使用することで、秋田県らしさを取り入れた仕上げとします。



○ルーバー

屋外階段や屋外機置場にはルーバーを設置することで、周囲からの景観に配慮した計画とします。



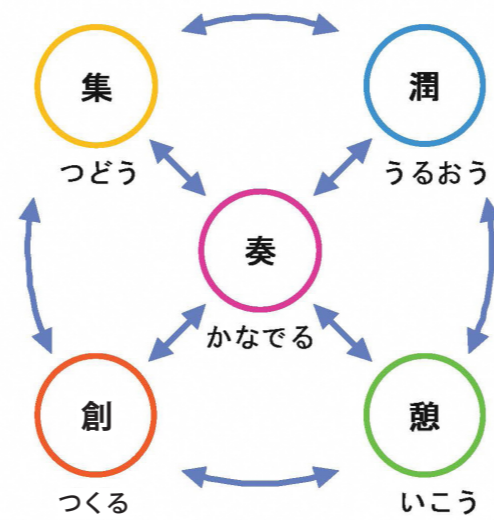
8 外構計画

■ランドスケープコンセプト

横手市のアイデンティティを取り込み市民が奏でる

『ひろばとプロムナード』

- ・新市民会館(建築)と一体となり敷地全体の印象を高める
- ・横手市のアイデンティティを取り込む
(横手市の風景、横手を囲む山並み、横手川、かまくら)
- ・憩い、歩きたくなるプロムナードを展開
- ・多様なイベント対応が可能なスペースを形成
- ・既存木を市の資産と捉え、出来る限り残し、季節の彩りを取り込む



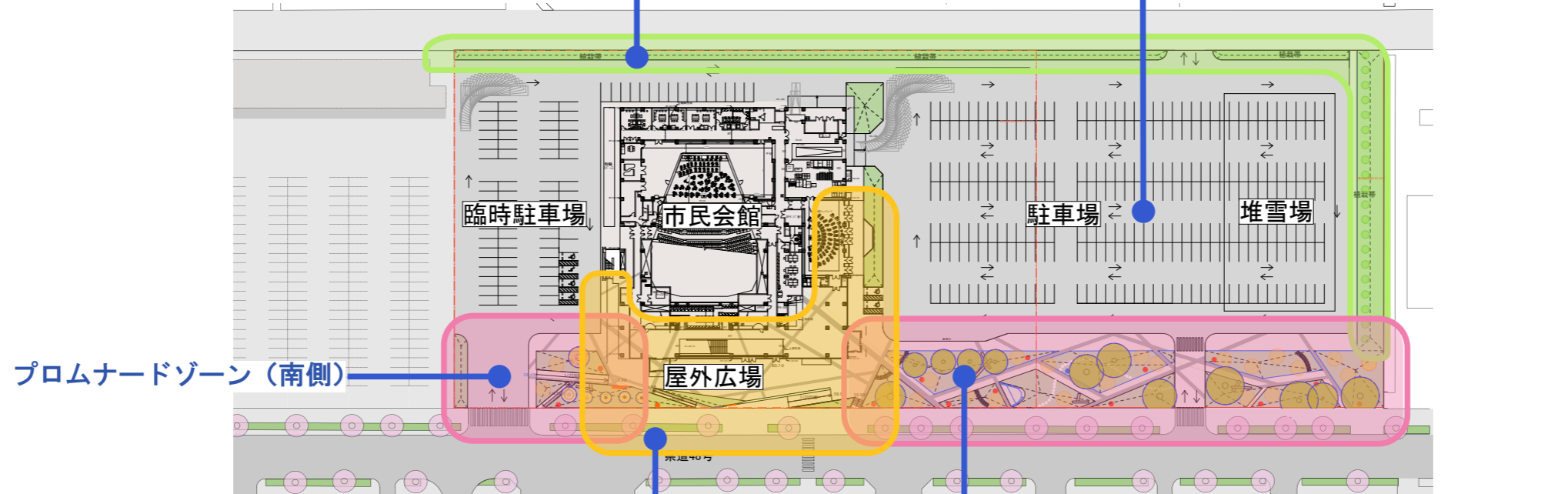
■全体ゾーニング

西・北側緑地ゾーン

- ・近隣に配慮した常緑樹の並木を構成

駐車場ゾーン

- ・多様なイベントに利用できる広場
- ・積雪時は駐車場北側を堆雪場として利用



プロムナードゾーン (南側)

屋外広場ゾーン

- ・にぎわいが屋内外ににじみでる広場
(キッチンカー/イベント広場として利用)
- ・憩いの場としてのストリートファニチャ
- ・屋内外をつなぐペイジメント
- ・既存樹(イチョウ)はできる限り残す

プロムナードゾーン (北側)

- ・歩道と屋外広場をつなぐ緑の潤いのあるプロムナード
- ・歩道と駐車場の歩道をつなぐショートパス
- ・既存樹や彩りのある樹木に囲まれた憩いの場をつくる
- ・遊び場となる遊具を配置
- ・季節の変化や彩りを感じられる樹木を配植
- ・既存樹(ケヤキ・ヤマモミジ)はできる限り残す

9 雪対策の考え方

1 堆雪式の陸屋根

- ・建物の屋根は雪を溜め置く計画とし、落雪による危険性を軽減します。
- ・横手の積雪量に耐える十分な強度の屋根架構を計画します。

2 雪庇からの落雪を受ける堆雪帯と大屋根

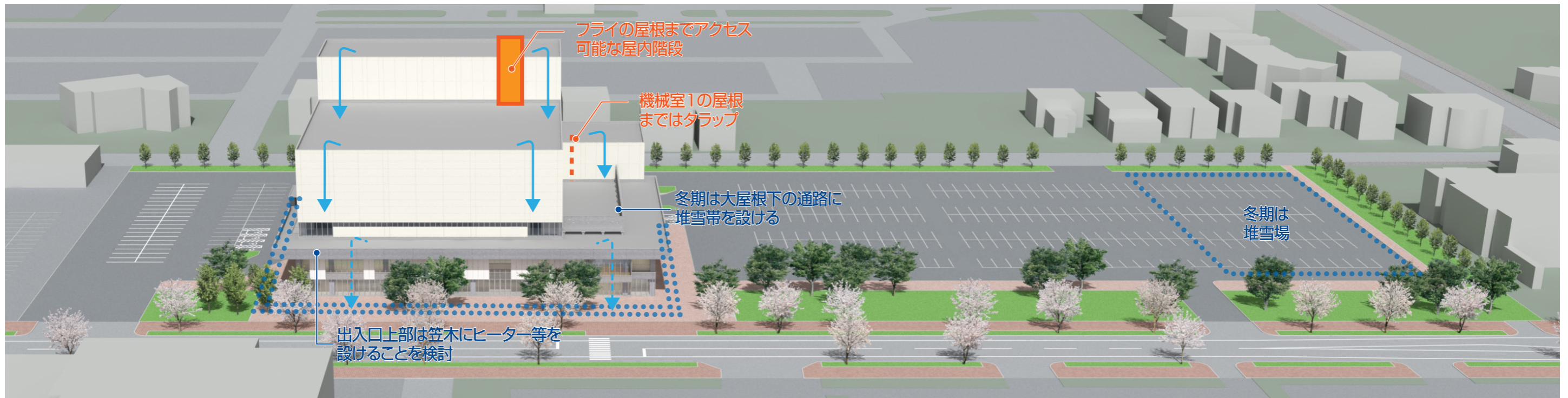
- ・雪庇からの落雪にも対応できるように、建物四周の通路スペースを堆雪帯とすることで、安全性に配慮します。また、高層部の雪庇からの落雪は中間階の大屋根で受ける計画とします。

3 除雪に配慮した動線計画・外構計画

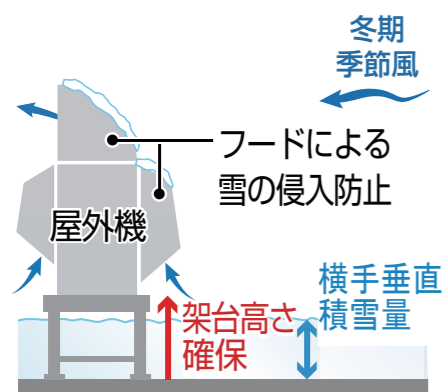
- ・3階までは除雪機を大屋根までEVで運ぶことができる動線を確保し、客席やフライ上部に至る屋内階段を整備することで除雪に配慮した動線とします。
- ・外構は除雪に配慮して、フラットな舗装面とします。

4 融雪により積雪時も安全なアプローチ

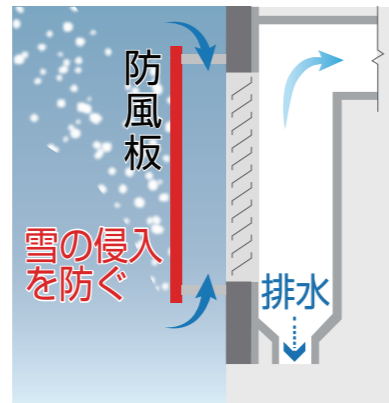
- ・建物の主要な入口となる風除室1,2は融雪を行い、積雪時も安全なアプローチとします。また、必要に応じて備品にて融雪が行えるように、建物北東の車寄せに近接した位置に相応の電源を整備します。



東からの鳥瞰イメージ



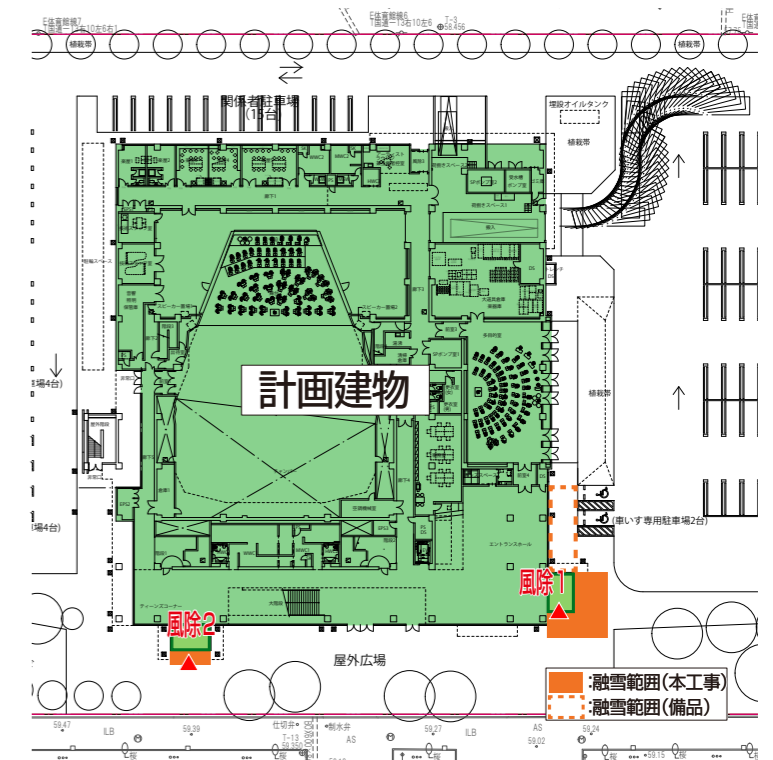
<屋外機の雪対策>



<ガラリの構造>
雪対策の各種手法について



外構について



融雪範囲について

10 概算事業費及び整備スケジュール

1) 概算事業費

新市民会館の事業費については、現在想定している基本的な機能部分の面積から算出した概算事業費として、81.3億円程度と試算しています。今後実施設計において、より具体的な経費を積算していきますが、資材価格や人件費の高騰、消費税の引上げ等の様々な社会情勢の動向によって事業費は変動することが予想されます。

費目	概算額
建設工事費	76.1億
什器備品費	2.0億
委託費等	3.2億
総事業費	81.3億

※建設工事費には造成・外構工事費を含む。解体事業費を除く

2) 特定財源等

財源については、国からの補助金や合併特例債等を活用することで市の一般財源の軽減を図ります。

3) 整備スケジュール

令和4年度から令和5年度にかけて実施設計を行い、令和5年度中に工事着手、令和8年度の供用開始を目指します。

4) 概略工事工程表

延べ52カ月程度を想定します。但し、諸々の条件変更により工期が変更となる場合があります。

横手市民会館	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
高齢者センターほか 解体工事	→																							
高齢者センター跡地ほ 造成工事	→																							
設計監理、工事監理				→																				
建設工事・外構工事				→																				
開館													→											
現構手体育館解体 ・造成・外構													→											